

AMED

サルコペニア・ フレイルシンポジウム

～事業連携を通じた成果の創出に向けて～

高齢化の進展に伴い、サルコペニア・フレイルが増加し、健康寿命の延伸・介護予防の観点からその対策が喫緊の課題となっています。

日本医療研究開発機構 (AMED) ではサルコペニア・フレイルに関連して複数の研究事業が、それぞれの目的・特徴をもって研究開発を進めています。

そこで関連事業が連携し、基礎・臨床研究から実践に至るまでの最新知見や今後の展望について議論します。

開催日

令和6年1月21日 日
13:00～17:15

開催形式

- オンライン開催
- オンデマンド配信予定
(AMED YouTube 期間限定)

参加費

無料 (参加登録あり)

申込方法

ホームページ申込フォーム

<https://evententry.link-j.org/public/seminar/view/6007>

※オンデマンド配信 (限定配信) ご希望の方も事前登録をお願い申し上げます。

申込締切

令和6年1月18日 木

関連事業

- 革新的先端研究開発支援事業
領域：根本的な老化メカニズムの理解と破綻に伴う疾患機序解明
- 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策
実用化研究事業
- 長寿科学研究開発事業
- 予防・健康づくりの社会実装に向けた
研究開発基盤整備事業
健康・医療情報活用技術開発課題／ヘルスケア社会実装
基盤整備事業
- ロボット介護機器開発等推進事業



主催



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

共催



● プログラム

開会挨拶

13:00 寺本 民生 AMED 疾患領域コーディネーター（生活習慣病）
曾山 明彦 一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

AMED事業紹介

13:10 AMED 各事業担当者

基礎研究セッション

13:20 ● 座長 寺本 民生 AMED 疾患領域コーディネーター（生活習慣病）

筋肉はなぜ減るのかー糖尿病と不動からみた考察ー

小川 渉 神戸大学

筋線維タイプ制御の分子機構とサルコペニア

高橋 智 筑波大学

基調講演

14:00 ● 座長 秋山 治彦 AMED 疾患領域コーディネーター（老年医学・認知症）

サルコペニア・フレイル領域の研究について

荒井 秀典 国立長寿医療研究センター

● 休憩 14:30 ●

臨床研究セッション

14:40 ● 座長 飯島 節 長寿科学研究開発事業プログラムスーパーバイザー

高齢者フレイルの早期予知・予防を可能とする
新規バイオマーカーの開発研究(仮題)

牟礼 佳苗 和歌山県立医科大学

サルコペニアの生体マーカーの探索

田原 康玄 静岡社会健康医学大学院大学

感染症パンデミックにおける
高齢者へのアプローチ(仮題)

山田 実 筑波大学

● 休憩 15:40 ●

実践セッション

15:50 ● 座長 大内 尉義 ロボット介護機器開発等推進事業プログラムスーパーバイザー
酒巻 哲夫 健康・医療情報活用技術開発課題プログラムオフィサー

フレイル予防のためのポピュレーションアプローチ
～住民同士の力による地域づくりと幸福長寿～

飯島 勝矢 東京大学

フレイルに陥りにくいまちづくりのエビデンスと
これからの方向性

久野 譜也 筑波大学

パネルディスカッション

16:30

● ファシリテーター 岩本 愛吉 AMED 研究開発統括推進室長・理事長特任補佐

● ディスカッサント 寺本 民生 秋山 治彦 飯島 節 大内 尉義 酒巻 哲夫

閉会挨拶

17:10 秋山 治彦 AMED 疾患領域コーディネーター（老年医学・認知症）